

中央公民館の目標（平成19年度）

中央公民館長 浅野 恵美子

1 中央公民館の役割

中央公民館は、生涯学習の拠点施設として、町民の自主的な活動を主体とした生涯学習活動を支援するとともに、町民の要望を取り入れながら生涯学習プログラムの充実を図り、公民館の利用を促進する役割を担っています。

2 個別事業とその目標

学習機会の拡充及び学習活動の支援(公民館班)

高齢化の進展や余暇時間の増大等に伴い、生涯学習への意欲が高まっています。

また、団塊の世代が定年を迎え、地域活動への参加が期待されます。

そのためには、地域での様々な活動につなげられる学習講座を行うと共に、学習活動を支援しています。

(1) しすいタウンカレッジ(公民館主催事業)の充実

カレッジコース 1年生、2年生

・仲間づくりを行いながら酒々井町について学び、1年間の学習を通して町への提案等をレポートとしてまとめます。

・2年生は3月の卒業に向け、班ごとに「自主学習のまとめ」を作製し、学習の成果を発表します。

カレッジコース3年生：ボランティア活動コース

・福祉や健康等について学び、いつまでも元気に活動できることを課題にしての卒業レポートの調査・研究に取り組みます。

カレッジコース3年生：まちづくり活動コース

・環境問題や防犯等について学び、行政との協働や地域での活動方法を課題にしての卒業レポートの調査・研究に取り組みます。

ふるさとガイド養成講座

・歴史ボランティアガイド団体設立を目標に、町の歴史や史跡について学びながらガイドのしかたを習得する講座です。本年度は9名が受講し、平成20年8月末には本佐倉城跡と酒々井宿についての各受講生のガイドプラン『マイガイド』が完成する予定です。

ワークショップ入門講座

・円滑な合意形成の手法を課題としてワークショップの技法を学び、日常の活動に役立てる学習講座です。

保育ボランティア養成講座

・育児に追われ、公民館事業に参加できないお母さんを応援し、仲間づくりのお手伝いをするため、保育ボランティアとして活動することを目的とした講座で、講座終了後には、サークル活動として保育活動を行っています。

おもしろ科学講座

- ・小学生を対象に、さまざまな実験を通して科学のおもしろさを知る講座を開講しました。(2回開催し20名の参加)

わんぱく幼児教室

- ・集団生活に入る頃のこども同士や親同士の仲間づくりの教室を開きました。(3回開催し親子42組の参加)

超初心者パソコン教室

- ・パソコンに触れたことのない方等を対象として、パソコンの使い方を学ぶ教室を開きました。(1回「全3日間」開催し20名の参加)

移動公民館

- ・公民館になかなか来られない町民の方のため、自治会館等の施設を使用して折り紙教室等を開催しました。(2回開催し30名の参加)

庭木剪定講座

- ・樹木の剪定技法等の基礎知識を学ぶ講座を開講しました。(1回「全5日間」開催し20名の参加)

生涯学習フェスティバル

- ・日頃の学習活動の成果を発表するとともに、町民の芸術文化に対する関心を高めより多くの町民が参加する文化活動を推進しました。
- ・参加者が主体の運営委員会組織を設置し、発表・展示・体験等内容の充実を図りました。(6日間の開催 参観者数9,144名)

オータムコンサート

- ・町内小・中・高等学校等によるコンサートとして小中学生や一般聴衆との交流を図り親交を深め互いの演奏技術や鑑賞態度の向上を目指し開催し350名の参加がありました。

クリスマスコンサート

- ・公民館利用団体による、クリスマスソングを楽しむコンサートを開催し220名の参加がありました。

わいわいこどもまつり

- ・公民館利用者だけでなく、多方面の力を結集し子供のための行事として、こどもが体験できる内容で実施します。

おじさんずライブ in しすい

- ・懐かしの音楽を団塊の世代の方に聴いてもらい青春時代を思い出し、一緒に歌って楽しんで、仲間づくりや地域デビューのきっかけづくりのライブを開催し約200名が訪れました。

(2) 公民館だよりの充実

- ・公民館事業の紹介や案内、生涯学習にかかる情報を提供して、親しまれる館報づくりを推進しました。(5・7・9月の3回発行)

また、ホームページ内容を充実しました。

(3) サークル・同好会の活動支援

- ・公民館を学習活動の場としているサークル・同好会を育成、支援します。